

---

目次

会長の挨拶

- I 日本学術会議への登録
- II 第4回日本社会情報学会研究大会の開催
- III 諸会議報告
  - (1) 第13回理事会審議要旨
  - (2) 第14回理事会審議要旨
  - (3) 第5回総会報告
- IV 新役員体制に向けて
- V その他

【学会事務局より】

---

会長からの挨拶

会員の皆さん、今日は、日頃、日本社会情報学会の発展のため何かとご協力を頂き、まことにありがとうございます。お陰様で、本学会の会員数は、着実に増加の一途をたどっており、また研究大会において発表される各会員の研究内容や会誌に掲載される論文の内容は、年々とその水準を高めているように思います。まことにご同慶の至りです。

さて、この10月の終わりには、関西大学において第5回総会と第4回研究大会が開催されました。総会の決定事項の詳細は、この学会ニュースに載っておりますが、その中の2点について特に申し上げたいと存じます。

その第1は、本学会が日本学術会議に登録されたことです。この登録に関する学術会議との接触については田崎理事にお願いし、またその膨大な申請書類の作成には、専ら中村総括理事の手を煩わせました。会員各位もよくご承知のことと存じますが、学術会議への登録には、定められた水準を超えた学会活動が必要とされており、同会議への登録は、当学会に対する社会的評価を示すものと考えてよいのではないかと思います。

つぎに、新しい理事会の選出について申し上げたいと思います。昨年4月には、新しく選出された理事並びに監事による理事会が発足いたしました。10月末に開催された第5回総会では、新しい会長及び副会長の下新しい理事会が承認され、来年4月より、学会の一層の発展を期して船出することになっております。現在の会長及び副会長は、来年3月をもってその任期が満了することになります。

3年前の4月、日本社会情報学会の発足時に、私達一同は、社会情報現象の深い認識が広く求められていることを切実に感じておりましたが、その思いは、今日一層強いものがあります。新しい役員会が、当学会のより大きな発展のために、日夜ご尽力下さることを期待して、ご挨拶といたします。

会長 田中 一

## I 日本学術会議への登録

標記の件についてご報告します。本年2月16日(火)、日本学術会議登録申請に関する説明会が同会議において開催され、これには田崎理事が出席された。その後、同理事より学会事務局に申請書類作成の依頼がなされた(申請手続きの締切は5月末日)。事務局として鋭意膨大な申請書類の作成にあたり、5月20日(木)に、中村総括理事が申請書類を直接同会議に持参し申請手続きを完了した。9月16日(木)、日本学術会議より田中会長宛に電話連絡があり、無事登録が認められたことが伝えられ、学会発足当初からの目標は達せられた。

## II 第4回研究大会の開催

大妻女子大学、呉大学、東京大学と続き、今年は、関西大学において、第4回目の学会研究大会が、去る10月30日(土)、31日(日)の両日にわたり開催された。関西大学総合情報学部は、大阪高槻市の見晴らしのよい丘の上のキャンパスにあり、日本社会情報学会に相応しい数多くの研究報告、シンポジウム等が行われ、大きな成果をあげることができた。

初日午前中は、2会場に分かれ、各々4報告ずつの自由報告が行われ、活発な質疑討論が展開された。午後は、鬼木甫氏(大阪学院大学・大阪大学名誉教授)の「日本社会の硬直性(終身雇用、縦割社会、男性優先社会など)を生み出した情報要因」の演題で特別講演があり、学会員に強いインパクトを与えた。その後、130分の長時間にわたり「サイバースペース」と「現実世界」の繋がり」という統一テーマの下、3名のパネラー(稲葉清毅、三上俊治、正村俊之各会員)、コメンテータ(伊藤守会員)、コーディネータ(名和小太郎会員)の協力によるシンポジウムが行われ、いかにも社会情報学会らしい活発な議論が繰り広げられた。

第2日目は、午前中は、初日同様2会場に分かれ、各々2件の自由報告があり、午後は、3会場に分かれ、「ワークショップ」として、メディアのグローバル化の問題、電子マネー、社会情報系学部における情報教育問題が討議され、閉会した。

学会前日には、大会実行委員長の高木副会長の計らいで、山崎サントリー工場見学があり、また初日の総会終了後には、素晴らしい夜景が鑑賞できる場所で、賑やかに懇親会が催され、楽しく懇親を深めることができた。今回の学会の準備に当たられた関西大学総合情報学部の大会実行委員会のスタッフの皆様には、本大会が成功裡に終わったことにつき、この紙面をお借りして厚くお礼申し上げたい。

### III 諸会議の報告

#### (1) 第13回理事会報告(審議事項要旨)

日時 1999年4月11日(土)午後1時40分-4時30分

場所 東京大学社会情報研究所6F会議室

出席者、欠席者(略)

報告事項(略)

#### 審議事項

1. 第12回理事会議事録(案)が、会員数299名を300名に変更した上で承認された。
2. 7名の入会の確認と、9名の入会の可否並びに16名の退会の可否を諮ったところ、異議なくこれを承認し、1名につき除名手続きを進める事が承認された。
3. 新しい「会員名簿」の内容形式につき諮ったところ、異議なくこれを承認した。
4. 会誌「社会情報学研究」第3号の発行につき、伊藤委員長より報告ならびに問題点(特に印刷費の件)の指摘があり、また論文審査の在り方等につき活発な意見交換が行われた。

(意見交換の記録については、会長名ですでに全会員に配布済みです。)

5. 日本学術会議への登録手続きに関して、中村総括理事より詳細な説明があり、申請書類の各項目毎に審議がなされ、事務局において書類作成を進めることが了承された。
6. 田中会長より、学会実施細則第13条に基づき、学会賞を設けることにつき発言があり、阿部理事に提案が求められた。阿部理事を責任者とし、廣井理事ならびに橋本会員を作業グループのメンバーとして今後さらに検討することが了承された。
7. 田中会長より、次期会長及び副会長候補者の選出方法につき、各役員からの自由な意見を求められ、種々意見交換の結果、以下のことが承認された。
  - ① 役員が、次期会長及び副会長候補者を推薦する場合、事前にその旨を会長に伝えることができるものとし、その時期は、次回理事会の1週間前までとし、改めて会長より各役員に通知する。
  - ② 次回理事会において、先ず次期会長候補者を投票により選出するが、投票に先立ち意見交換を行い、そのさい、次期会長候補者の推薦がすでにある場合は、会長はそれを報告する。
  - ③ 次期会長候補者選出後、次期副会長候補者を投票により選出するが、投票に先立ち意見交換を行い、そのさい、次期副会長候補者の推薦がすでにある場合は、会長はそれを報告する。
8. 田中会長より、学会活動が閉塞状態にならないよう、早い段階で今後の活動につき検討する必要があると、次回理事会以降、この件につき意見交換する予定である旨発言がありました。

(2) 第14回理事会報告(審議事項要旨)

日時 1999年7月24日(土)午後1時45分-4時40分

場所 東京大学社会情報研究所6F会議室

出席者、欠席者(略)

報告事項(略)

審議事項

1. 第13回理事会議事録(案)が異議なく承認された。
2. 田中会長は、会誌に関する理事会での意見交換記録の一般会員への公表の件、この件に関する一会員への回答の件等に関する追認を求め、理事会は異議なくこれを追認した。
3. 田中会長は、理事会への委任状出席に関する申し合わせにつき諮ったところ、異議なくこれを承認し、第14回理事会以後の審議から適用することとした。なお、会長より議長(会長)としての委任状事項の行使については、出席役員の多数意見に賛同する旨が述べられ了承された。
4. 21名の入会ならびに3名の退会について審議し、これを承認した。また、会費未納の理由による4名の除名処分につき諮ったところ、これを承認し、第5回総会に提案することを了承した。
5. 1998年度決算(案)について審議しこれを了承し、第5回総会に提案することを承認した。金子監事は監査報告を行い、同決算収支は適正であること、各項目の予算と決算の間に開きが多く次年度の予算案策定のさいに考慮すべきことを指摘した。
6. 2000年度予算(案)につき審議した結果、大会運営費を15円増額して30万円とし、それに伴い、予備費を15万円減じて21万円とする修正を行った上、これを第5回総会に提案することを承認した。
7. 次期会長候補者及び副会長候補者につき審議し、投票の結果(事前の推薦あり)、高木副会長を次期会長候補者に、金子ハルオ監事及び田崎篤郎理事を次期副会長候補者に選出し、次回総会に推薦することを承認した。
8. 中村総括理事より、「次期理事選出手続き日程(案)」が提案説明され、審議の結果、異議なくこれを承認した。
9. 中村総括理事より、次期理事選出管理委員会委員候補者として、黒須俊夫会員(群馬大学社会情報学部)、小竹裕人会員(群馬大学社会情報学部)ならびに松平緑会員(株式会社ジーシー)の3名の推薦があり、異議なく承認された。
10. 中村法規委員会委員長より、名誉会員の推薦に関する申し合わせ(案)につき説明があり、審議の結果異議なくこれ承認した。
11. 名誉会員の推薦に関する議事進行につき、田中会長から高木副会長に議長の交替が了承され、審議の結果、議長は、田中会長ならびに福村副会長を名誉会員に推薦することの可否を諮ったところ、異議なくこれを承認し、次回総会に提案することとなった。

12. 学会賞創設につき、廣井理事から検討経緯につき説明があり、意見交換を行った結果、今後さらに検討を続け、成案を理事会に提案することが了承された。
13. 学会ホームページの活用につき、田中会長からの指摘提案等があった。
14. 来年4月から、学会事務局を群馬大学社会情報学部内から、呉大学社会情報学部内に移すことの件につき審議され、岡理事（呉大学）から、2年間の条件で事務局を引き受ける用意のある旨述べられ、この件については異議なく了承された。
15. 日本学術会議情報学研連主催シンポジウム「ネットワーク型情報メディアの活用と情報を活かす新技術」の後援の可否につき、異議なくこれを承認した。
16. 田中会長より、学会実施細則第15条の規定に基づき、学会規約第21条別表中の1000名に対する定足数200を201に訂正することの提案があり、異議なくこれを承認した。
17. 次回理事会を、10月30日に、関西大学高槻キャンパスで開催することが了承された。

【お断り】第15回理事会（1999年10月30日開催）の報告は、「学会ニュース第8号」に掲載いたしますので、ご了承下さい。

（3）第5回総会報告（1999年10月30日開催、於関西大学総合情報学部）

第5回学会総会は、研究大会第1日目のシンポジウム終了後、ただちに開催された。高木大会実行委員長が総会開会を宣し、43名の会員が総会会場に出席しており、89名の会員から委任状が届いていることから、その合計の132名が会員総数339名に対する定足数98名を超えているので総会は成立している旨報告し、田中会長が、実施細則第9条第3項本文の規定により、議長席についた。

報告事項としては、議長より、日本学術会議への登録が認められたこと、これに伴い、日本学術会議会員候補者推薦人を田中会長とすること、社会学研究連絡委員会委員候補者として阿部会員（理事）を推薦すること、についての第15回理事会決定の報告があり、田村事務局長からは、会員状況（現会員数339名）及び会費納入状況についての報告、さらに阿部理事からは、学会賞創設に関する中間検討報告がなされた。その他、2000年度学会大会を静岡大学情報科学部で、2001年度学会大会を札幌学院大学社会情報学部で開催すること、来年4月から学会事務局を群馬大学社会情報学部内から呉大学社会情報学部内に移すこと等の報告がなされた。次期事務局長予定者の呉大学の中北宏八教授が紹介され、挨拶をされた。

次に、以下の事項について審議が行われ、いずれも異議なく承認された。

1. 第4回学会総会議事録（案）の承認
2. 会費未納による4会員に対する除名処分の承認
3. 1998年度決算（案）の承認（金子、清原両監事の監査報告あり）
4. 2000年度予算（案）の承認
5. 次期会長及び副会長候補者の信任投票  
（黒葛会員他2名開票、田村事務局長立会い）

次期会長候補者 高木教典会員 (可44、白1、否0)

次期副会長候補者 金子ハルオ会員 (可45、白0、否0)

田崎篤郎会員 (可42、白1、否2)

以上の結果、各々次期会長及び次期副会長として承認された。

6. 次期理事選出選挙結果及び理事会推薦に係る理事及び監事候補者に関する信任投票結果(黒須俊夫・理事選出管理委員会委員長報告)についての承認(追認)

その後、高木次期会長挨拶ならびに次期新役員の自己紹介があった。

7. 「名誉会員の推薦に関する申し合わせ(案)」の承認

8. 名誉会員の推薦に係る承認(この議案についてのみ、実施細則第9条第3項但書に基づき高木副会長が議長となる)

田中一会長ならびに福村副会長が、名誉会員として承認された。

#### IV 新役員体制に向けて

2000年3月末日をもって現在の役員の2年間の任期が終了し、かつ役員人事は学会総会の承認事項でもあり、10月30日開催の第5回総会で新役員人事を決める必要から、理事及び監事について、以下の選出手続きを行った。次期会長及び副会長の選出については、すでに第5回総会報告の中で紹介してあるので、ここでは省略する。

##### (1) 理事選出選挙

学会規約第15条及び同理事選出規則に基づき、次期理事選出選挙を、7月26日に公示し、8月2日(月)から9月8日(水)(同日必着)までを郵送による投票期間として設定し投票(5名連記無記名)を実施した。(理事選出管理委員会委員長・黒須俊夫、同委員・小竹裕人、同委員・松平緑)9月10日(金)15時、群馬大学社会情報学部内において、中村総括理事及び田村事務局長の立会いの下で開票が行われた。投票結果は以下のとおりであった。

会員総数 316 (1999年7月24日現在)

定足数 93

投票者総数 130

有効投票者数 130

無記入投票数 42

有効投票総数 608

開票結果(得票者及び得票数〔括弧内〕)は以下のとおり(得票同数の場合の順序は五十音順により、また10票以上の得票者のみを表示した)

①伊藤守(44) ②田村泰彦(34) ③中村喜美郎(31) ④廣井脩(31)  
⑤岡隆光(30) ⑥阿部圭一(27) ⑦西垣通(26) ⑧増田祐二(23)  
前納弘武(22) 黒須俊夫(18) 長田博泰(18) 浜田純一(18)

小林宏一（14） 須藤修（13） 清原慶子（12） 正村俊之（10）  
吉見俊哉（10）

9票（1名）、8票（1名）、7票（2名）、6票（3名）、5票（4名）  
4票（8名）、3票（6名）、2票（23名）、1票（62名） 以上

以上の開票結果を踏まえ、理事会は、理事選出規則第4条第3項に基づき、上位得票者8名まで（伊藤会員から増田会員まで）を当選者とし、さらに同規則第4条第4項に基づき、理事候補者2名以内を総会に推薦するか否か、推薦するとした場合、誰を推薦するかにつき審議するとともに、「監事選出申し合わせ」に基づき、監事候補者2名の推薦の手続きに入った。

その結果、以下の理事候補者2名及び監事候補者2名を推薦することとした。

推薦理事候補者2名

浜田純一会員 長田博泰会員

監事候補者2名

正村俊之会員 前納弘武会員

## （2）推薦理事及び監事候補者信任投票

田中会長名で、全会員に「理事及び監事候補者の推薦理由書」を送付するとともに、郵送投票期間を9月20日（月）から10月6日（水）（当日消印有効）までと設定し、信任投票を実施した。10月8日（金）15時より、中村総括理事立会いの下で開票を行った。黒須理事選出管理委員会委員長の報告は以下のとおりである。

投票総数 131票

投票結果

理事候補者	浜田純一会員	可129	否2	白0
理事候補者	長田博泰会員	可128	否2	白1
監事候補者	正村俊之会員	可129	否2	白0
監事候補者	前納弘武会員	可125	否4	白2

以上の結果、学会規約第21条の規定に基づき、上記4名の候補者は、いずれも投票者の過半数の承認を得た。第5回総会において、実施細則第9条第5項の規定に基づき、上記結果は承認（追認）された。

## V その他

すでにご報告しましたように、会員数も飛躍的に増加し、日本学術会議への登録も認められ、2000年度の新しい役員人事も決まりました。学会事務局も新しく呉大学に移ります。本来ならば、新入会員、退会会員のお名前と所属、さらに会員名簿の訂正事項等をご報告しなければならぬのですが（当初はその予定でした）、今回の学会ニュースの情報量が多くなってしまいましたので、それは次号に掲載するか、あるいは新事務局

にご苦勞をお願いし、新しい会員名簿を作成していただくか、いずれかにさせていただきます  
たいと思います。なにとぞご容赦下さい。やはり年4回程度の「学会ニュース」の発行は  
必要ですね。

毎回お願いしているところですが、会員の皆様からの新鮮な情報をお待ちしております  
ので、是非事務局宛にお寄せ下さい。学会ホームページだけでなく、「学会ニュース」も、  
学会情報の貴重な情報源とならなければならないと思います。

---

【学会事務局より】

1900年代最後の年もあと残すところわずかとなりました。大変遅れてしまいましたが、  
やっと「学会ニュース」第7号をお届けすることができました。学会の懸案事項であつた  
日本学術会議への登録が認められたことは、今年のビッグニュースかと思ひます。学会  
発足以来3年間の活動実績が認められた結果であるかと思ひます。昨年4月に、学会事務  
局が、札幌学院大学社会情報学部から群馬大学社会情報学部内に移り、1年と8カ月が経  
過しましたが、来年3月末をもって2年間の任務が終了します。新しく呉大学社会情報学  
部内に事務局が移る予定になっていますので、よろしくお願ひいたします。学会員数も飛  
躍的に増えつつあります。2000年という新しい年は、日本社会情報学会にとってどん  
な年になるのでしょうか。会員の皆様には、良い年を迎えられますように心からお祈り申し  
上げます。

日本社会情報学会事務局

群馬大学社会情報学部内 田村泰彦研究室気付

前橋市荒牧町4-2 (郵便番号 371-8510)

TEL 027-220-7523

E-mail s-info@si.gunma-u.ac.jp